

2026年 4月 26日 ≪ 献堂記念礼拝 ≫

主日礼拝 8時半 / 10時半 / 夜7時

司会 石井 秀人兄

奏楽

祈祷 白川 達男兄

賛美 新聖歌20番「主のまことはくしきかな」
～スピリットソング～

ヤベツの祈り

聖書朗読 コロサイの信徒への手紙1章1～6節

特別讃美 ベアンテ・ボーマン先生ご夫妻

メッセージ 「聖書の真理に気づいたパウロ」

石井 潤 牧師

献金 聖歌486番「きたれ友よ共にイエスの」
～主は今生きておられる～ (献金当番：渡辺姉・小林[弘]姉)

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛美 ～「見つめ続けます」～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

☆本日は献堂記念礼拝です。午後はクリスマスに向け、聖歌隊の練習があります。

★祈り会：明朝6時、木曜午前 10 時半(12 時お掃除)/午後7時半、土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝では誕生祝福式。(司会：白川兄/祈祷：小山姉/献金：和田姉・渡辺姉)。お昼はカレー。午後は聖書の学び会(寺澤政枝姉/ユダ書)。

☆一年に一回聖書を完読できる! **Bible Reading Plan** [4/26-5/3] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	ルカ 19:28-48/	20:1-18	:19-47/	21:1-19	:20-38	22:1-23	:24-46	:47-71
	1サムエル記 15-16	/17	18-19	/20-21	/22-23	/24-25	/26-28	/29-31
チェック	0/00	0/0	0/00	0/00	0/00	0/00	0/000	0/000

「聖書の真理に気づいたパウロ」

～福音の真理を自分の身をもって表現した～

「今私は、あなたがたのために喜んで苦しみを受けており、キリストの体である教会のために、キリストの苦難の欠けたところを、身をもって満たしています。/このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。それは、すべての人を、キリストにある完全な者として立たせるためです。このために、私は労苦し、私の内に力強く働くキリストの力によって闘っているのです。」

コロサイの信徒への手紙1章24/28・29節

イエス様は私たち全人類の罪のために十字架の上でお苦しみを受け、救いを成し遂げられました。そして、三日目に死人の中からよみがえって、私たちの希望のために永遠の命をお与えになりました。

パウロは、そのイエス様が苦しまれたことに「欠けたところ」があって、その「欠けたところ」と自分の身をもって満たしていると語りました。この考えはどういうことなのか？イエス様のあのお苦しみに何が「欠けて」いたのか？

注意深くこのコロサイ書の1章を読み直し、考え直してみました。

私たちはこのイエス様がなされた救いの御業＝福音によって永遠の希望を与えられた者たちです。パウロの言うキリストの苦難の欠けたところを自分の身をもって満たしているということは、どういうことか？それは、福音とは、イエス様を通して提供された救いの世界を私たちが受け止めて、その救いの恵みを体験し、この世での歩みの中で苦闘しながらも、その恵みを感謝して歩み続けることを通して、全うされる世界。「キリストにある完全な者」とされるために、この世で信仰者として歩み切ることを通して、福音の世界が全うされるということなのではないか？と受け止めさせられました。

私たちの人生が、主の救いの業を真に完成すると言えるのです！